

水天子



よこちゃん

横内市民センターだより

発行 青森市横内市民センター
〒030-0132 青森市横内字亀井 28-2
TEL 017-738-8723
FAX 017-738-8726



講座レポート1

郷土の歴史講座 「津軽為信の時代～いくさと戦場」 7/28

今回の郷土の歴史講座は、津軽為信の時代の「いくさと戦場」にスポットを当て、村の人々がいくさにどのように関わったかという視点での内容です。講師に、青森市民図書館歴史資料室室長 工藤大輔さんを迎え、10人（男性3人、女性7人）が参加して開催されました。藩祖為信の詳細な事績を確実な資料で確定するのは、史料の残存状況などからして容易でないことから、関連する資料を読み解きながらの講義になりました。

いくさは農閑期に 戦場は稼ぎ場

上杉謙信の関東出兵を手掛かりに、為信の時代の津軽のいくさと時期についての解説がありました。上杉謙信の関東出兵パターンは、長期越冬型が多いということです。二毛作のできない越後では、年が明けて春になると、畠の作物が取れる夏までは、端境期といって、村は深刻な食糧不足に直面しました。冬の口減らしは切実な問題でした。冬場の働き口などどこにもなく、まして飢饉・凶作の続いた戦国の村々にとって、農閑期・端境期の戦場はたった一つの「口減らし」の場だったのではないのでしょうか。

津軽のいくさも、3月末から8月中旬に行なわれています。とくに夏と初秋に集中し、短期間で終え、田植えや稲刈りの時期を外しています。戦

国の村にとって戦場の場は「口減らし」の場、言い換えると村にいても食えない二、三男坊（雑兵）にとって「食うための戦場」「生き延びるための生命維持装置」となっていたようです。

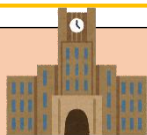
戦国時代の終焉 稼ぎ場は城下町建設へ

その後、稼ぎ場（戦場；生命維持装置としての戦争）がなくなった時代になると「雑兵」たちに、新たな働き口（普請場）が提供されることになりました。全国で一斉に城下町がつくられ、未曾有の建設ラッシュとなったのです。弘前藩庁でもその延長として、新しい港町づくりの調査を始めた節があり、青森の町づくりが始まりました。平和な時代になったことで産み落とされたのが青森の町でした。



メモを取りながら熱心に聞く参加者

参加者は、戦国時代のいくさが農民の食べて（生きて）いく場であったという新たな視点の内容に興味深そうに聞き入っていました。



青森市民大学 横内校 公開講座のご案内

- ◆11月10日（金）10時～11時30分
「青森市の文化財について」 講師 青森市文化遺産課主査 石戸谷 勉
- ◆12月1日（金）10時～11時30分
「忍び寄る危険な不整脈（心房細動）」 講師 青森県健康管理士会会長 神 一男
- ◆12月15日（金）10時～11時30分
「認知症に関する基礎知識」 講師 青森中央学院大学看護学部准教授 中川 孝子
- 会場：横内市民センター2階 大会議室

どなたでも受講可能です

ご希望の方は事務室にてお申込みください
申込み期限は講座実施日の2週間前までです



現代社会はストレス社会ともいわれ、多くの人が多少なりともストレスを抱えて生活しているのが現状です。本講座では毎日の生活を元気に過ごしてもらおうと「『元気に生きる』ための心理学」をテーマに、青森大学社会学部教授の鈴木康弘さんを講師に迎え、60代、70代の男女9人が参加して開催されました。

元気になる力は自分の中に

講座は、1 元気になる力は自分の中にある
2 元気をなくす心理を知る 3 リフレーミング（物事を捉える際の枠組みを変えることで別の視点を持つこと）で元気になる 4 元気（勇気）が出る行動＝貢献 という4つの内容で進められました。

元気をなくす心理として、①どうせ自分には無理だ ②満足できないことばかり ③自分をわかってくれない というのがあり、



見方を変えると見え方が変わる絵

これを切り替えるのがリフレーミングという説明がありました。

リフレーミングで元気に

今回の講座の特徴として、講義の中で、近くの席の人と意見交換をするという演習がいくつかありました。◇興味を持ったことがありますか。◇何が見えますか？（見方を変えると見え方が変わる絵）◇リフレーミングのコツを発見できましたか？などの演習で参加者同士が活発に意見交換をしていました。



演習で意見交換する参加者

参加者からは、「フレンドリーで参加型の講座は初めてであり、非常に参考になりました」「リフレーミングを学び、楽しくなりました」「演習の時、先生は大変受容的であり、安心して話すことができました」等の感想が聞かれあっという間の2時間でした。



お勧め講座・イベントのご案内！（10～11月）

～裁判員制度出前講義～ 「あなたもいつか裁判官！」

開催日：10月5日（木）
10：00～12：00

対象：18歳以上

講師：青森地方裁判所 裁判官 早坂謙児

会場：2階 大会議室

準備物：筆記用具・水分補給用飲み物

定員：20名

参加費：無料



千代紙で作るクリスマスツリー 和紙で作る鶴のお正月飾り

開催日：11月27日（月）
13：00～16：00

対象：18歳以上

講師：手芸愛好家 嶋田壽美子

会場：2階 大会議室

準備物：はさみ

定員：15名

参加費：500円



編集後記

市民センターでは、にぎやかで楽しそうな声が聞かれるようになりました。市民センターまつりも各市民センターで開催される予定で、コロナ禍以前のように、講座やサークル活動が活発になってきた兆しが見られます。市民の皆様の学習活動が安全・安心に行われるよう今後も努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164（内線36）

横内市民センター担当：須藤、横内